

# 平成 8 (1996) 年度埋蔵文化財 発掘調査報告書

## 市内遺跡確認調査

木山遺跡  
前山遺跡  
古屋敷遺跡  
藤蔵新田遺跡  
山木戸遺跡  
丸山遺跡  
石動遺跡  
大淵遺跡

1 9 9 7

新潟市教育委員会

## 例 言

1. 本書は平成8（1996）年度に実施した埋蔵文化財包蔵地（周知の遺跡）発掘調査及び報告書である。
2. 発掘調査は、新潟市教育委員会が調査主体となり、生涯学習課が所管した。体制は下記のとおりである。  
調査主体 新潟市教育委員会 生涯学習課  
調査担当 諫山えりか（生涯学習課）  
調査補助 田中恵津子（埋蔵文化財センター）
3. 調査で得た資料は、新潟市教育委員会が一括して保管している。
4. 現地調査から本書の作成に至るまで、多くの方々や機関から御指導及びご協力いただいた。

## 目 次

第1章 今年度の調査概要 .....	1
第2章 確認調査 .....	3
1 木山遺跡 .....	3
2 前山遺跡 .....	4
3 古屋敷遺跡 .....	5
4 藤蔵新田遺跡 .....	6
5 山木戸遺跡 .....	7
6 丸山遺跡 .....	9
7 石動遺跡 .....	10
8 大淵遺跡 .....	11

## 第1章 今年度の調査概要

今年度は本格調査2件、立会い調査6件、試掘調査8件の合計17件の調査が行われた。調査日数等は第1表のとおりである。

本格調査となった城山・神明社裏遺跡は7年度に引き続き新潟農地事務所による県営圃場整備により5月上旬から11月下旬まで約7か月間調査が実施された。

平成5年度から遺物保存処理事業を継続している。今年度は国庫重要文化財保存整備費によりの場遺跡出土木製品91点、金属製品10点を吉田生物研究所に処理を委託した。保存処理方法は、主に高級アルコール法である。また、市費負担で山木戸遺跡と小丸山遺跡の木製品12点の処理を財団法人元興寺文化財研究所に委託した。

上記のほかに、国指定史跡旧新潟税関の石積み遺構の範囲確認調査を博物館建設室が主体となり、実施した。調査の詳細は別途報告予定である。

第1表 管内遺跡調査一覧

	遺跡名 (遺跡No.)	届出・通知月日 等調査原因	届出所在及び地番対象 面積( )は発掘面積	調査区分 調査期間	調査結果 取り扱い
1	鳥屋野 (79)	1995.5.18法57条の3 下水道敷設	7300㎡	立会調査 1996.9.20	表土以下盛り土のため遺物・遺構とも確認されず、工事着手。
2	中山 (1)	1994.7.19法57条の3 暗渠敷設	9000㎡	立会調査 1996.12.17・18	黒褐色砂から縄文土器片出土。砂丘頭頂部は削平されている。工事継続。
3	木山 (42)	事前協議 駐車場整備	180㎡	立会調査 1996.10.22	現地表面からさらに盛土して工事着手。
4	山木戸 (112)	1996.10.7法57条の3 下水道敷設	1043㎡	立会調査 1996.10.28	遺物・遺構とも確認されず、工事着手。
5	溜池 (36)	事前協議 下水道敷設	2535㎡	立会調査 1996.11.28	表土以下盛り土のため遺物・遺構とも確認されず、工事着手。
6	彦七山 (9)	1996.11.18法57条の2 個人住宅建設	246㎡	立会調査 1996.2.27	遺物・遺構とも確認されず、工事着手。
7	木山 (42)	1996.3.28法57条の3 県道改修	木山字前田 860㎡ (20㎡)	確認調査 1996.5.27～29,10.30	遺物・遺構とも確認されず、工事着手。
8	前山 (11)	1996.5.24法57条の2 個人住宅建設	北山字前山 400㎡ (12㎡)	確認調査 1996.5.30	遺物・遺構とも確認されず、工事着手。
9	古屋敷 (31)	1996.5.8法57条の3 市道敷設	松崎字西 636㎡ (60㎡)	確認調査 1996.6.13・17・18・20・21	遺物・遺構とも確認されず、工事着手。
10	藤蔵新田 (102)	1996.7.18法57条の2 個人住宅建設	赤塚字乳ノ島 1227・1㎡ (11㎡)	確認調査 1996.7.24	遺物・遺構とも確認されず、工事着手。
11	山木戸 (112)	1996.7.30法57条の2 共同住宅建設	山木戸4丁目 441㎡ (31㎡)	確認調査 1996.8.6～9	古代・中世の遺物・遺構が確認され、協議の結果工事立会い。
12	丸山 (13)	1996.10.16法57条の2 個人住宅建設	丸山善之丞組字宮前 156・2㎡ (20㎡)	確認調査 1996.10.29	遺物・遺構とも確認されず、工事着手。
13	石動 (85)	1996.6.18法57条の3 県道敷設	本所字居浦 889㎡ (48㎡)	確認調査 1996.11.5～12	古墳時代の土器が出土し、来年度本格調査。
14	大淵 (16)	1997.3.14法57条の2 倉庫建設	江口中谷内 5180・3㎡ (28㎡)	確認調査 1997.3.17～19	遺物・遺構とも確認されず、工事着手。
15	大淵 (16)	1996.12.20法57条の3 宅地造成	大淵字天神裏 1284㎡ (100㎡)	確認調査 1997.3.21～4.21	平安時代の土器が出土し、来年度以降本格調査の見込み。
16	城山 (28)	1996.5.7法98条の2 圃場整備	蔵岡字城山 (350㎡)	本格調査 1996.5.16～6.14	縄文・平安時代の遺構・遺物が出土。
17	笹山前 (7)	1996.5.7法98条の2 圃場整備	蔵岡字笹山 (1840㎡)	本格調査 1996.6.17～11.27	縄文・弥生・古墳・平安時代の遺構・遺物が出土。

新潟市の地形概略図を下記に記載した。小さな●は遺跡の位置を示し、○で囲まれた番号が今年度調査を行った遺跡である。



第1図 遺跡分布図 (S = 1/140,000)

## 第2章 確認調査

### 1 木山遺跡 (No.42)

#### (1) 調査に至る経緯

調査原因 木山遺跡の確認調査は、新潟土木事務所による県道交差点改修工事に伴うもので、調査対象地は新潟市木山字前田860ほかの670㎡である。現地調査は畑部分を5月27～29・31日、水田部分を10月30日に行った。

#### (2) 遺跡と調査地点

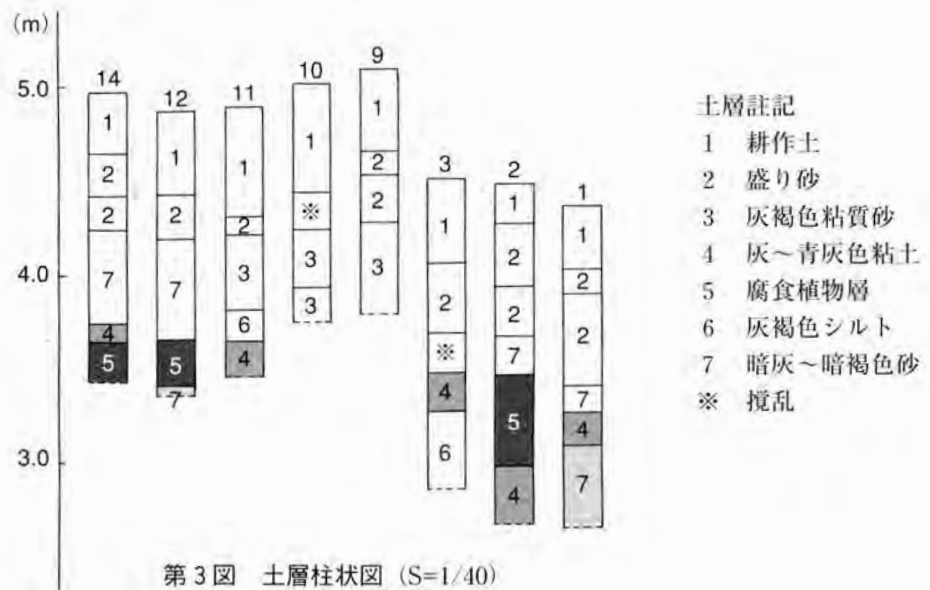
遺跡の立地する砂丘列は佐潟周辺砂丘列の新砂丘Ⅱ-b列に分類される。過去に平安時代と鎌倉時代の遺物が発見されたとあるが、現在いずれも所在不明である。事前の踏査でも当該期の遺物はみられず、近世以降の磁器片が採集できたのみである。調査対象地は遺跡北側の平坦地で、標高6.0m前後である。

#### (3) 調査結果

対象地に2×1.5mのトレンチを16か所設定し、重機により掘削を行った。その結果第2図のとおり、土層堆積が確認された。なお、遺物・遺構・遺物包含層は確認されず、工事着手された。



第2図 試掘坑配置図 (S=1/2,000)



第3図 土層柱状図 (S=1/40)



### 3 古屋敷遺跡 (No.31)

#### (1) 調査に至る経緯

古屋敷遺跡の確認調査は、都市計画道建設に伴うもので、調査対象地は新潟市松崎字西の3,101㎡である。現地調査は6月13・17・18・20・21日に行った。

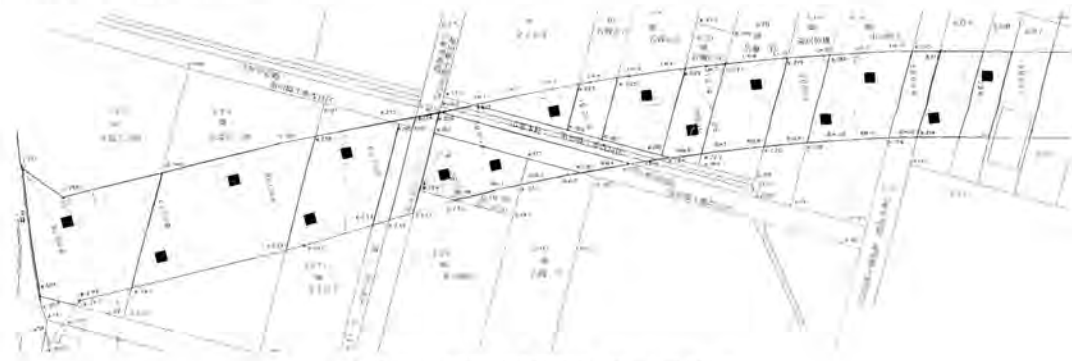
#### (2) 遺跡と調査地点

遺跡は通船川右岸の自然堤防堆積土上に位置する。事前の踏査では近世以降の磁器片と泥面子を採集した。調査対象地は畑地で、標高0m前後である。

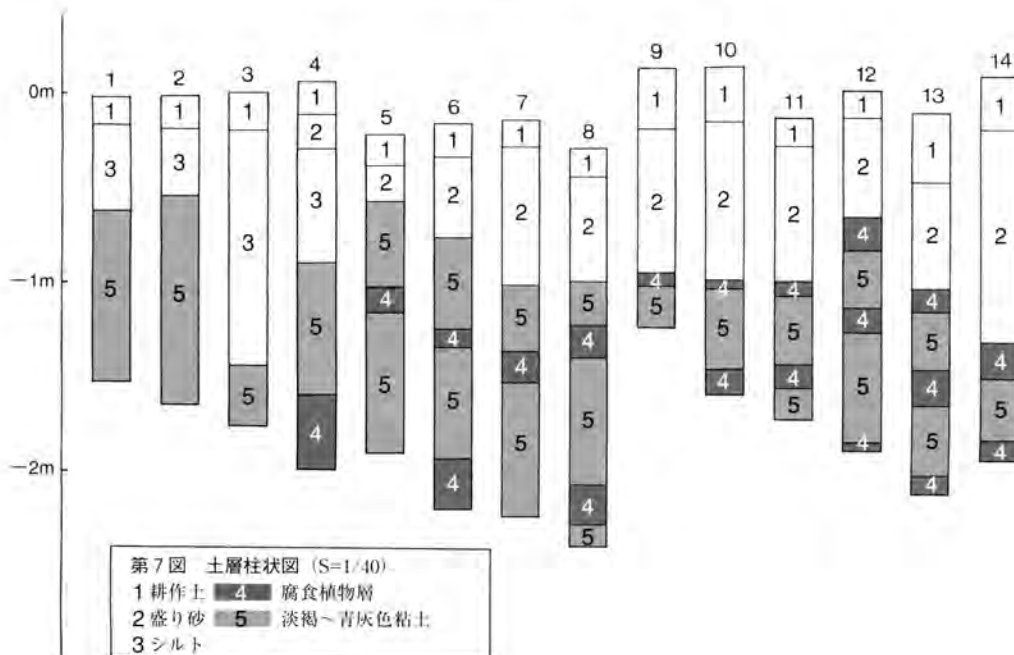
#### (3) 調査結果

対象地は、畑地であるが、調査時は休耕していた。対象地に2×2mのトレンチを14か所設定し、重機により掘削を行った。発掘面積は60㎡である。その結果次の土層堆積が確認された。Ⅰ層耕作土、Ⅱ層シルト層、Ⅲ層淡褐～青灰色粘土層、Ⅳ層腐食植物(ガツボ)層である。TP6～8・12・13ではⅢ層とⅣ層が交互に堆積していた。昭和61年時の調査で確認された遺物包含層とされる黒色砂層は確認されなかった。また、TP3～14は旧水田の上に盛砂して畑地としていたことが確認された。そのため、事前の踏査で採集した資料は他所から搬入した土の中に入っていたと考えられる。

調査の結果、遺構・遺物・遺物包含層は確認されず、調査の結果、遺物・遺構・遺物包含層は確認されず、工事着手された。



第6図 試掘坑配置図 (S=1/1,000)



## 4 藤蔵新田遺跡 (No.102)

### (1) 調査に至る経緯

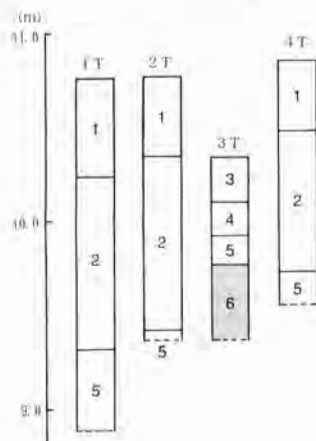
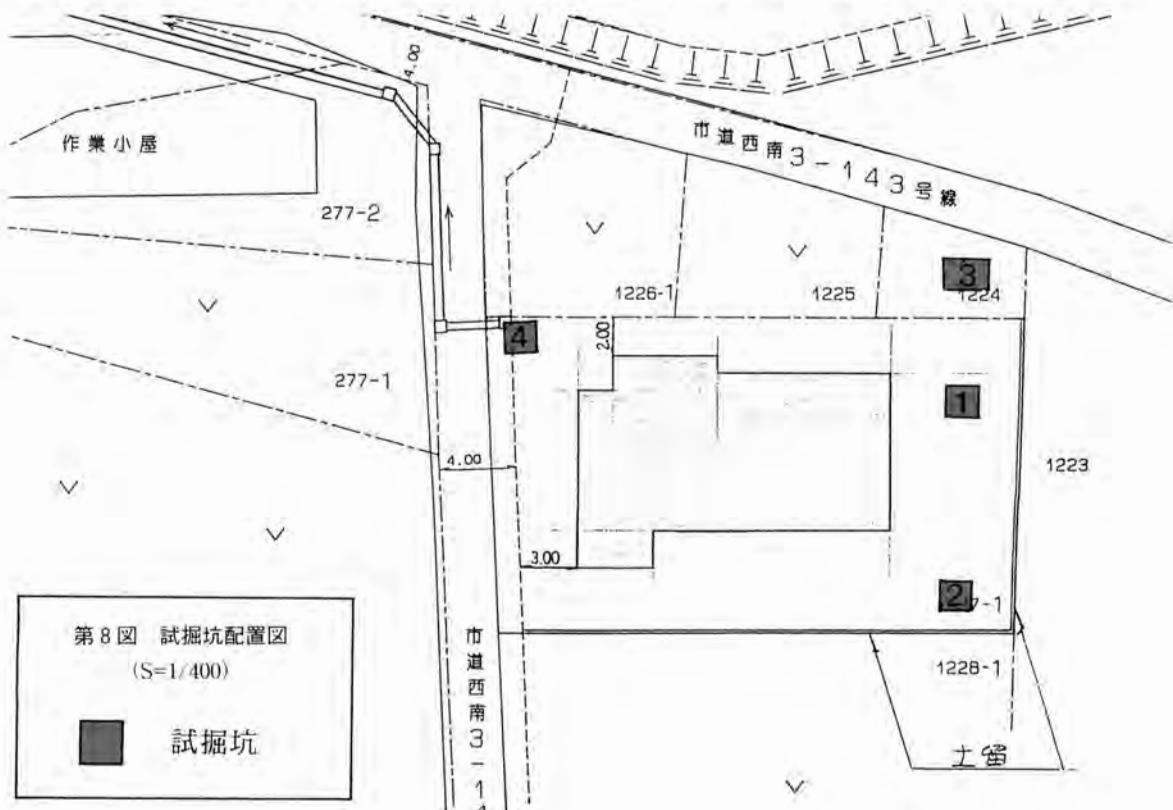
調査原因は、個人住宅建設に伴うもので、調査対象地は新潟市赤塚字乳ノ島1227ほかの412㎡である。現地は畑地であり、7月24日に調査を行った。

### (2) 遺跡と調査地点

遺跡は新砂丘Ⅱ-d列に対比される残丘上で、周囲は湿地である。にある。過去に、平安時代と鎌倉時代の遺物が発見されたとあるが、現在いずれも所在不明である。事前の踏査において、近世以前の遺物は採集できなかった。調査対象地は遺跡北西側にあたり、標高10.0m前後である。

### (3) 調査結果

対象地に1.5×2.0mの試掘坑を住宅建設予定部分を外して4か所設定し、重機により掘削を行った。その結果、3Tで約0.5m、そのほかの試掘坑では1m以上盛土され、その直下で砂丘形成層と思われる砂層(図中5及び6層)が確認された(第9図)。遺物・遺構・遺物包含層は確認されず、工事着手された。



第9図 土層柱状図 (S=1/40)

土層註記

- 1 褐色砂 (客土)
- 2 青灰色粘土 (客土)
- 3 暗褐色砂 (耕作土)
- 4 褐色砂 (砂丘形成層)
- 5 明褐色砂 (砂丘形成層)
- 6 明黄褐色砂 (砂丘形成層)



## 5 山木戸遺跡 (No.112)

### (1) 調査に至る経緯

山木戸遺跡の確認調査は、共同住宅建設に伴うもので、調査対象地は新潟市山木戸4丁目の799㎡である。現地調査は8月6～9日に行った。

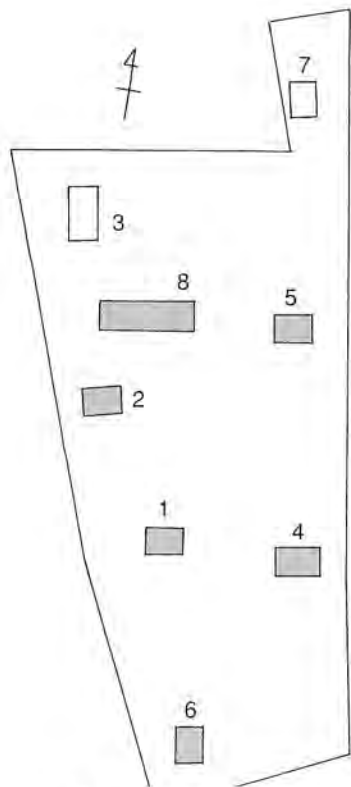
### (2) 遺跡と調査地点

遺跡の立地する砂丘列は牡丹山砂丘に位置し、新砂丘Ⅱ-d列に比定される。範囲は約18,000㎡とされている。過去の調査から、平成3・6年に宅地造成に伴い本調査が行われ、古墳・奈良・平安・鎌倉・室町・江戸時代の遺物と、奈良時代の竪穴式住居や中世の掘立柱建物・井戸・土坑・溝などが確認され、複合遺跡であることが判明している。調査対象地は平成3・6年度調査の東側約40mほどの平坦地で、標高0.5m前後である。

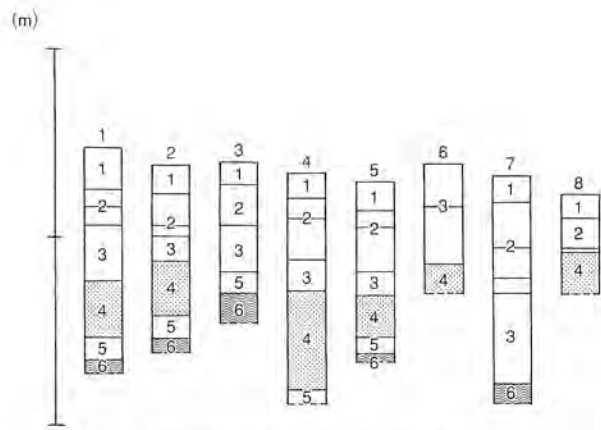
### (3) 調査結果

対象地は、調査時は碎石が敷かれていた。対象地に約1.5×2mの試掘坑を8か所設定し、重機により掘削を行った。その結果、1・2・4～6・8TPで地表面から0.5～0.7m深さで平安時代・中世の遺物包含層（暗～黒褐色砂層）、その下層に砂丘形成層である明褐色砂層が確認された。1Tでは5層上面で小穴など遺構を検出した（第13図）。遺物は平安時代の須恵器・土師器、中世珠洲焼、時代不明の小刀などが出土した（第14図）。遺物の注記は「山木戸96080x \*T」（xは調査日、\*は試掘坑番号）とした。再協議の結果、30cm盛土し、アパートの位置を北側へずらし、基礎・配管工事に立会うことで、本調査は行わず、工事着手された。

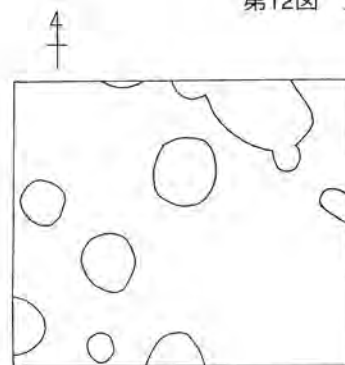




第11図 試掘坑配置図  
(S=1/1,000)



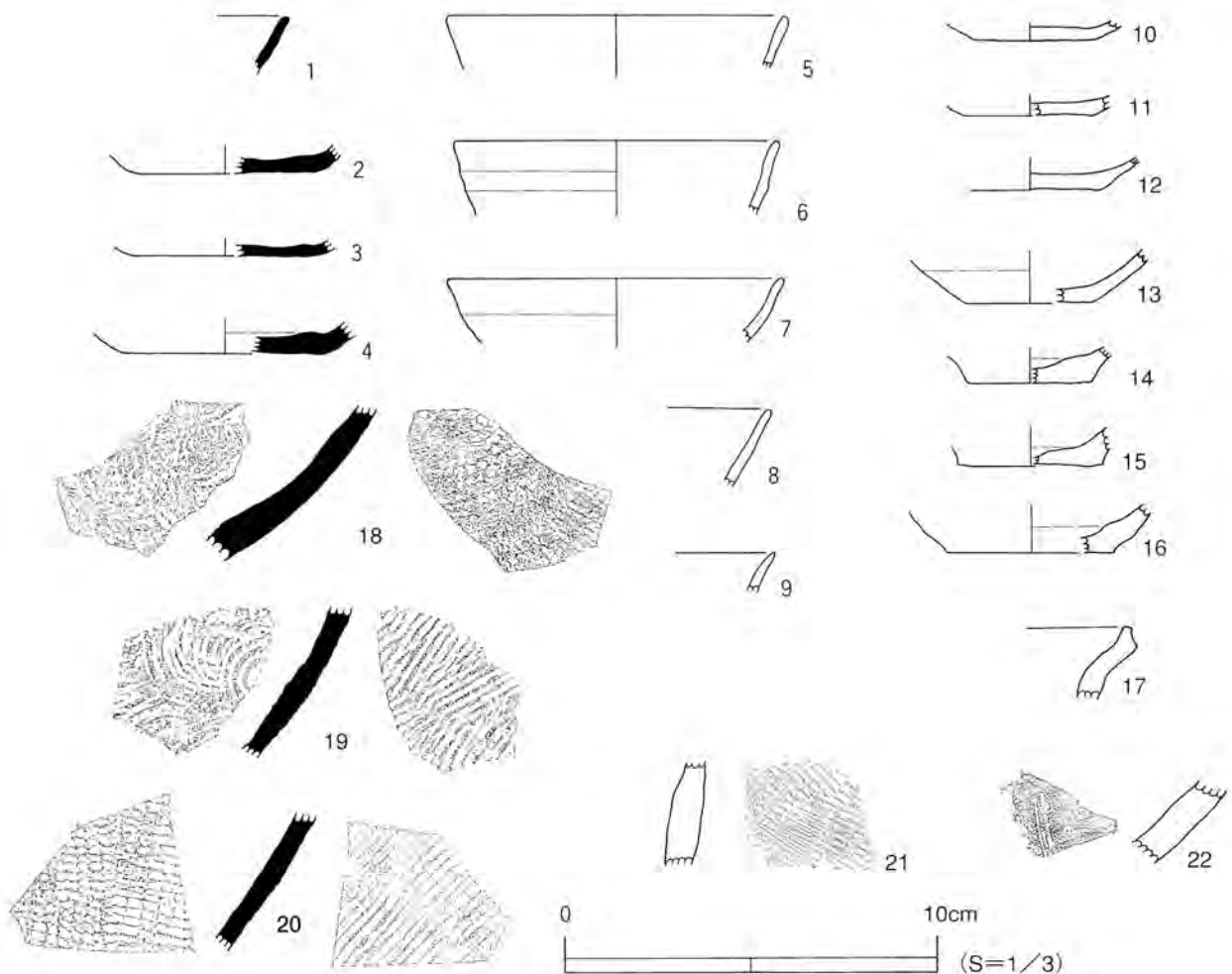
第12図 土層柱状図 (S=1/40)



第13図 遺構確認面 (1T6層上面) (S=1/40)

土層註記

- 1 碎石
  - 2 盛土
  - 3 耕作土
  - 4 暗褐色砂 (砂丘形成層)
  - 5 明褐～褐色砂 (砂丘形成層)
  - 6 明褐色砂 (砂丘形成層)
- ※ 4・5層が遺物包含層



第14図 出土遺物

## 6 丸山遺跡 (No.13)

### (1) 調査に至る経緯

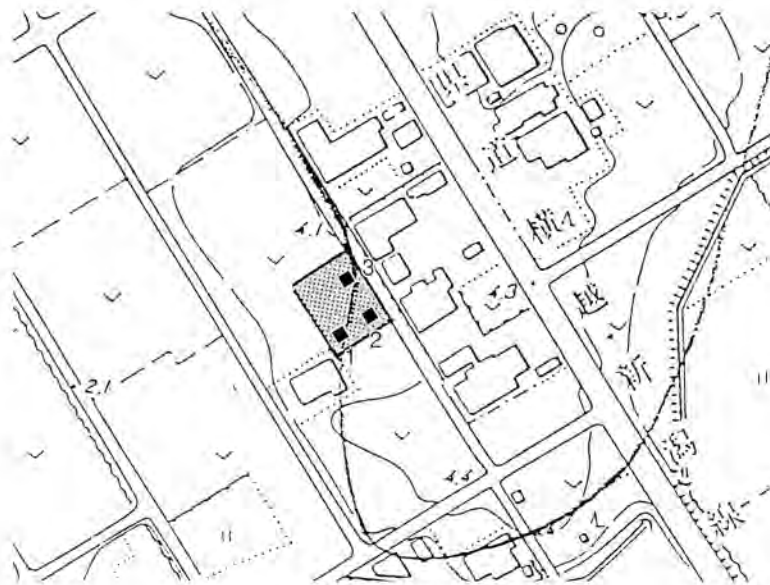
丸山遺跡の確認調査は、個人住宅建設に伴うもので、調査対象地は新潟市丸山ノ内善ノ巫組字宮前156番2ほかの485㎡である。現地調査は10月30日に行った。

### (2) 遺跡と調査地点

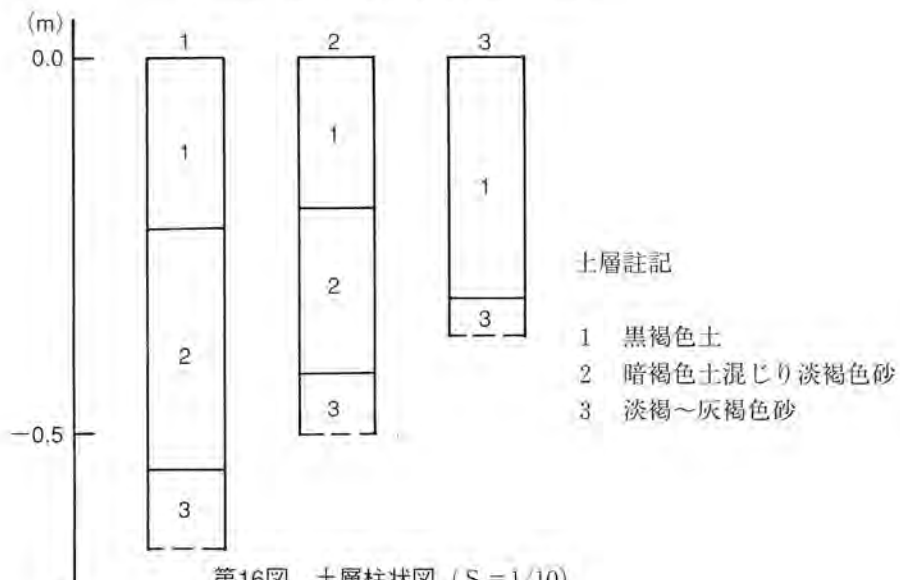
遺跡は、亀田砂丘後列の後列が南へ舌状に張り出したところに位置する。過去に、平安時代の須恵器や土師器が発見されているが、注記に地点が記されていることから、複数の遺跡、あるいは丸山地内に別の遺跡が存在した可能性がある(新潟市史資料編1)。調査対象地は遺跡西端に近接し、標高約4.1m前後である。

### (3) 調査結果

対象地に2×2mの試掘坑を3か所設定し、重機により掘削を行った。その結果盛土・耕作土の下から砂丘形成層と思われる明褐色砂層を確認した。既に遺物包含層は削平されたものと思われる。遺物・遺構・遺物包含層は確認されず、工事着手された。



第15図 試掘坑配置図 (S=1/2,000)



第16図 土層柱状図 (S=1/10)

## 7 石動遺跡 (No.85)

### (1) 調査に至る経緯

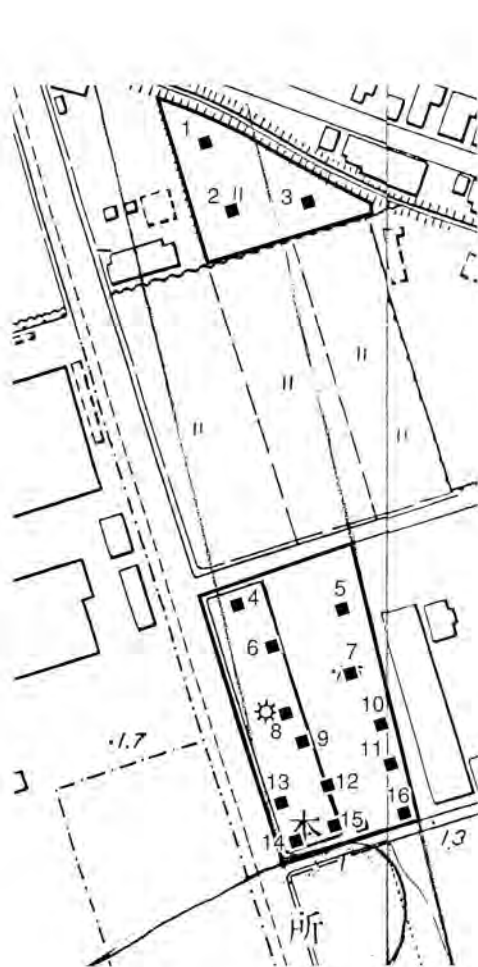
石動遺跡の確認調査は、新潟市新潟土木事務所による県道拡幅工事に伴うもので、調査対象地は新潟市本所字居浦の2,894㎡である。現地調査は11月5～12日に行った。

### (2) 遺跡と調査地点

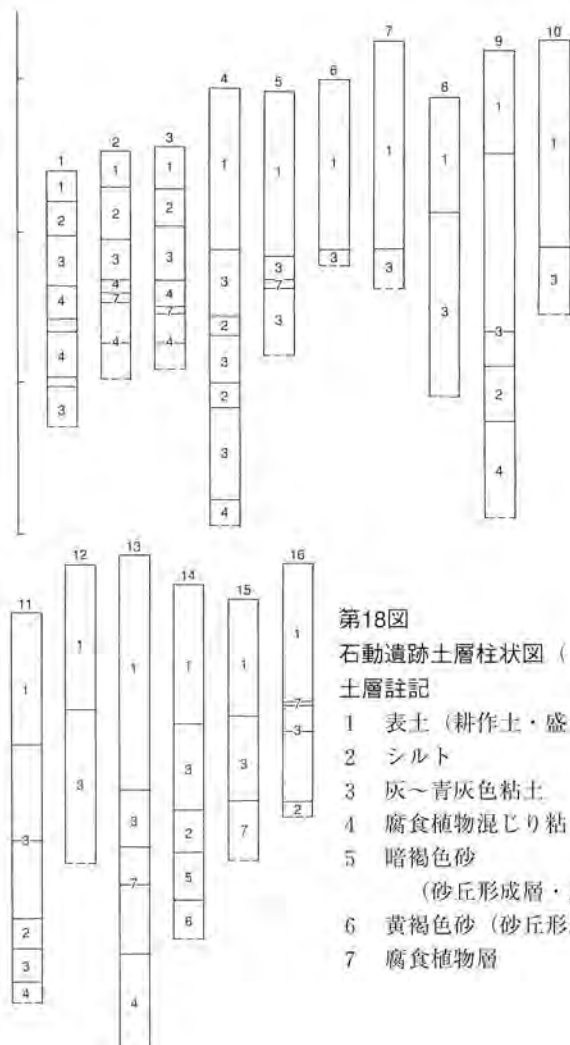
遺跡は石山砂丘の東端付近の小砂丘と阿賀野川左岸自然堤防が重なる地点にある。範囲は砂丘列に沿って東西320m、南北80mほどに広がると推定されている。今回の調査地をはさんで平成7年度に南側隣接部分を本調査、北側隣接部分で確認調査を行なっている。本調査では、弥生・古墳・平安・室町時代の遺物が出土し、土坑や溝が確認され、現在埋蔵文化財センターにて整理中である。調査対象地は遺跡北東端にあたり、平成7年度の調査結果から、北側へ広がる可能性が高いことが予想された。今年度の調査地は、平成7年度に確認調査を実施した地点北側に隣接する部分（1区）と、そこから80mほど南側へ離れた平成7年度本調査実施地点の北側隣接地（2区）の2地点に分かれている。調査時は、1区は水田で、2区は権平工作所跡地である。調査地の標高は1.5m前後である。

### (3) 調査結果

対象地は、2×1.5mのトレンチを1区3か所、2区13か所設定し、重機により掘削を行った。発掘面積は48㎡である。第18図に土層柱状図を示す。2・3層が自然堤防形成層、5・6層が砂丘形成層と思わ



第17図 試掘坑配置図 (S=1/2,000)



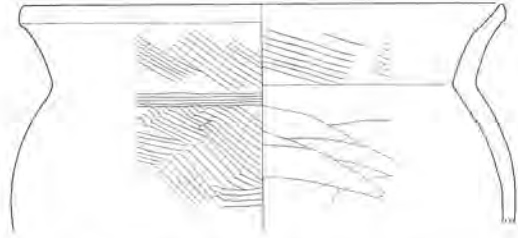
第18図

石動遺跡土層柱状図 (S=1/50)

土層註記

- 1 表土 (耕作土・盛土・盛り砂)
- 2 シルト
- 3 灰～青灰色粘土
- 4 腐食植物混じり粘土
- 5 暗褐色砂  
(砂丘形成層・遺物包含層)
- 6 黄褐色砂 (砂丘形成層)
- 7 腐食植物層

れる。1区では遺物包含層および砂丘基盤層は確認されなかった。2区の14TPで古墳時代前期の土師器甕が出土し（第19図）5層が遺物包含層と認められたため、遺跡の北東端が事業予定地まで広がることが分かった。調査結果を受けて事業者と協議を行い、平成9年度に本調査を行なうことになった。



第19図 出土遺物 (S=1/3)

## 8 大淵遺跡 (No.16)

### 1 倉庫建設に伴う確認調査

#### (1) 調査に至る経緯

大淵遺跡の確認調査は、倉庫建設に伴うもので、調査対象地は新潟市江口字中谷内5180番4の1,987㎡である。現地調査は3月17～19日に行った。

#### (2) 遺跡と調査地点

遺跡は、阿賀野川左岸の自然堤防上に位置し、範囲は東西約370m、南北約20mに広がると推定されている。過去に菅原神社南側畑地から平安時代と思われる須恵器の葉壺が出土、神社周辺に珠洲焼甕破片が拾われており、平安時代及び中世の遺物が確認されている（新潟市史資料編1）。調査対象地は遺跡範囲の北端で、標高2.9m前後である。

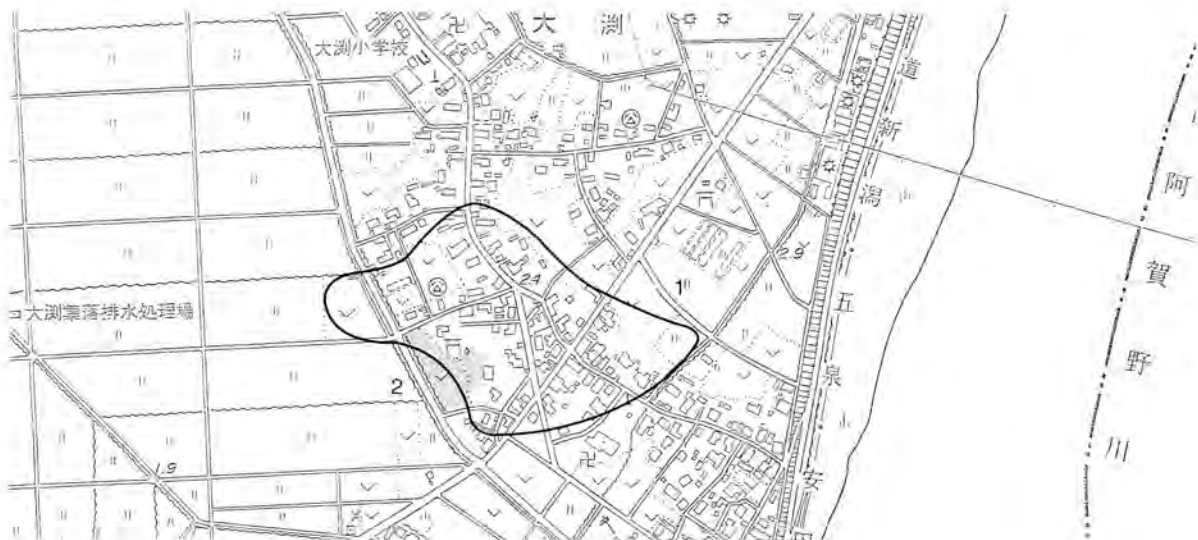
#### (3) 調査結果

対象地は、調査時は休耕地であった。2×2mの試掘坑を6か所設定し、重機により掘削を行った。盛土の下からシルト・粘土層が確認され、3～5Tで淡褐色砂層が確認されたが、遺物・遺構・遺物包含層は認められず、工事着手された。

### 2 県営住宅造成事業に伴う確認調査

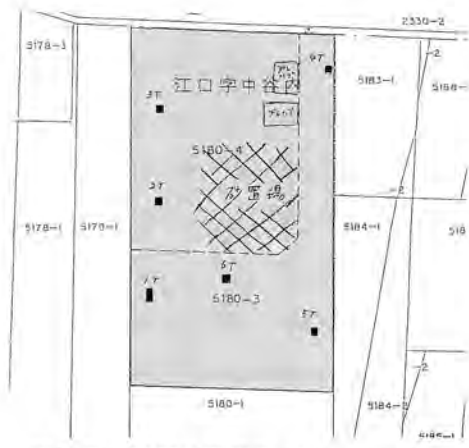
#### (1) 調査に至る経緯

遺跡の確認調査は、新潟県住宅供給公社による県営住宅造成に伴うもので、調査対象地は新潟市大淵字天神裏1284ほかの7,000㎡である。現地調査は、3月21～28日まで行なった。

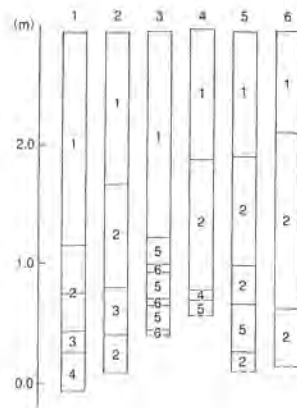


第20図 遺跡範囲と調査区の位置 (S=1/10,000)





第21図 試掘坑配置図 (S = 1/1,250)



第22図  
土層柱状図 (S = 1/60)  
土層註記  
1 表土 (盛土)  
2 淡褐～褐色シルト  
2' 灰褐色シルト  
3 青灰色シルト～砂  
4 暗褐色粘土  
5 淡褐色砂  
6 青灰色粘質砂～粘土

(2) 遺跡と調査地点

立地については前述した。調査対象地は標高2.0m前後で遺跡南東端にあたり、前出の菅原神社東側を囲むような形となった。また、この中に平安時代の遺物が出土した南側畑地を含む。調査時は畑・梅林である。

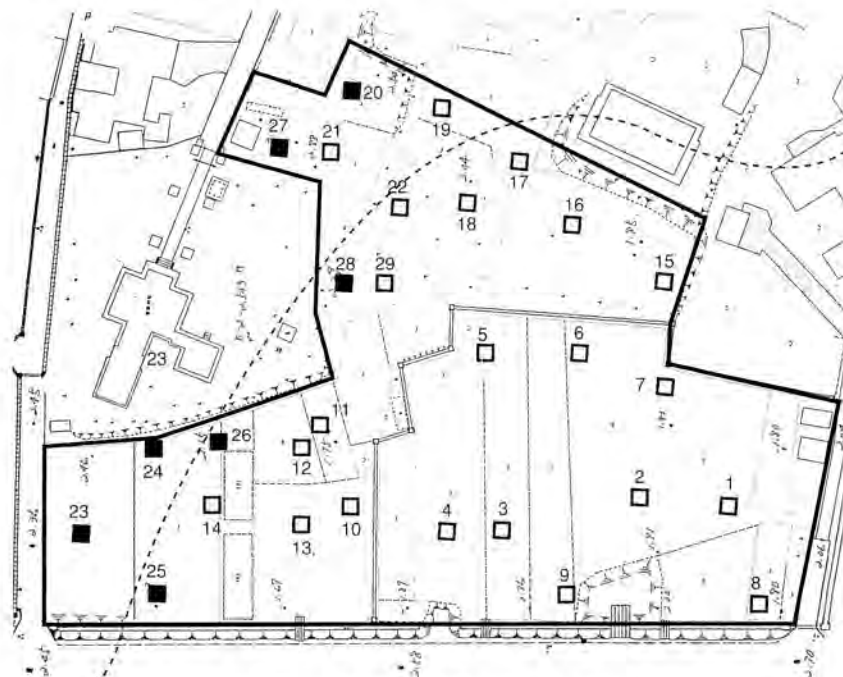
(3) 調査結果

対象地に2 × 3 mの試掘坑を28か所設定し、畑地は重機により掘削を行い、遺物・遺構・遺物包含層が確認された時点で人力に切り替えた。梅林部分は旧地権者からの要望によりすべて人力で掘削した。

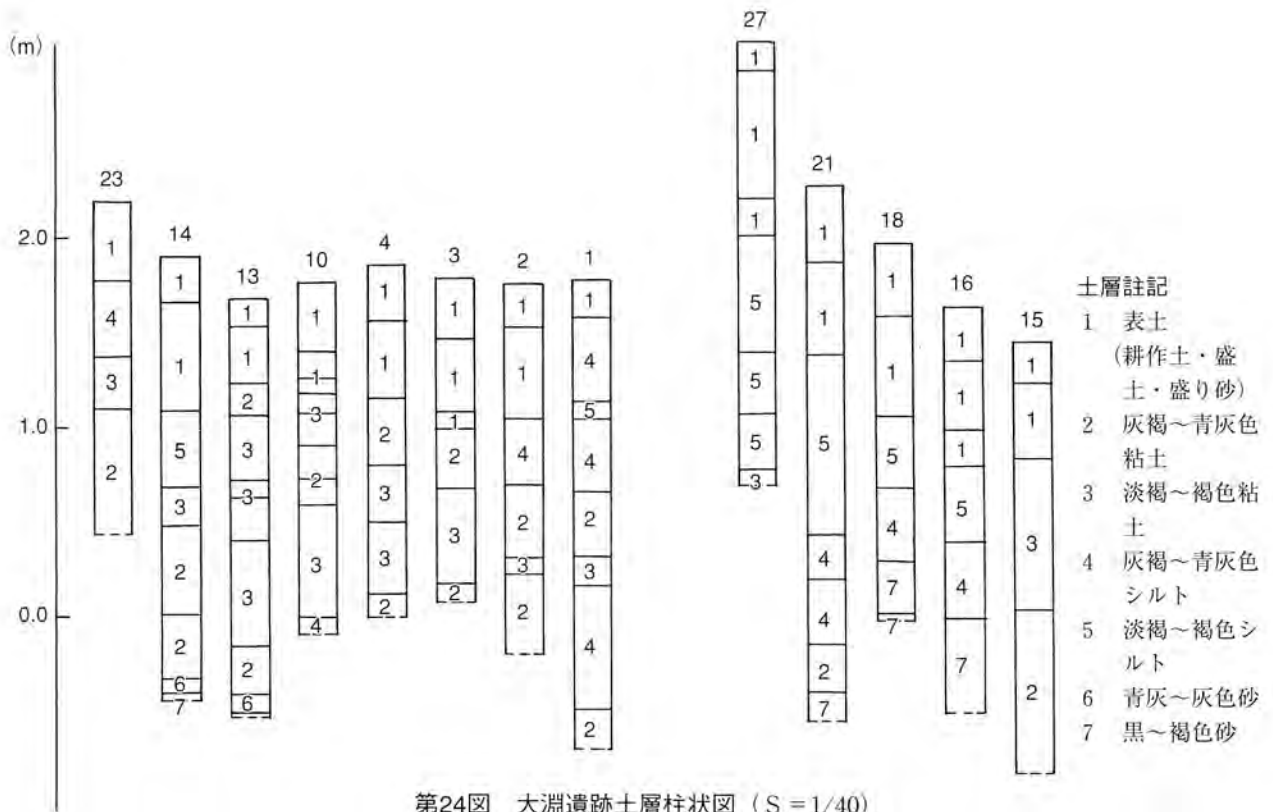
遺物は自然堤防形成層と思われるシルト～粘土層から出土し、暗褐色砂層からは遺構・遺物とも確認されなかった。遺物は平安時代の須恵器・土師器 (14頁 写真図版)、中世の陶磁器が発見された。調査の結果、約2,800㎡の範囲が遺跡範囲にかかることがわかり、来年度以降の本調査実施へ向けて再協議をすることとなった。

なお、この確認調査終了後、埋蔵文化財センターより申し入れがあり、以後確認調査も含めた調査を埋蔵文化財センターで行なうこととした。

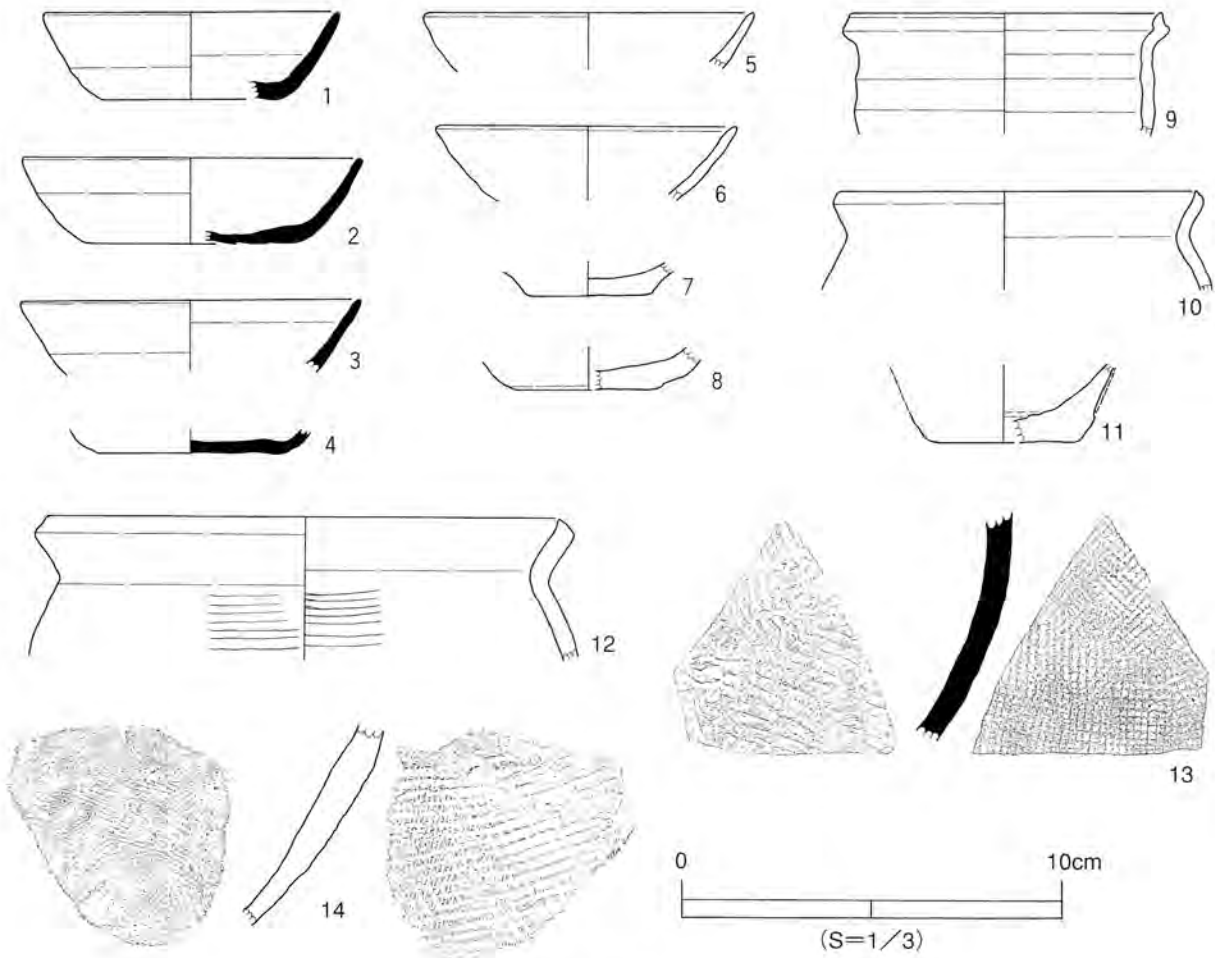
\*当報告書には平成8年度分調査を収録するものであるが、上記の調査は4月21日まで継続され、結果報告を生涯学習課が担当した経緯があるため、ここに収録する。



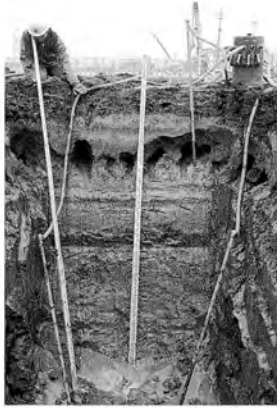
第23図 試掘坑配置図 (S = 1/1,250)



第24図 大淵遺跡土層柱状図 (S=1/40)



第25図 出土遺物



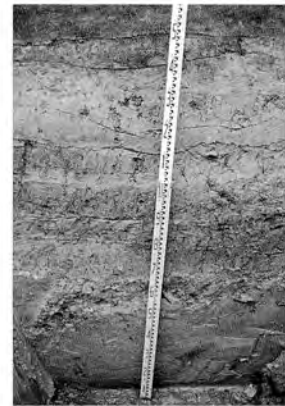
石動遺跡14T土層堆積



石動遺跡出土古式土師器甕



大淵遺跡（倉庫）土層堆積



大淵遺跡23T土層堆積



大淵遺跡出土須惠器無台杯



大淵遺跡出土土師器無台碗



大淵遺跡出土土師器甕・鍋



大淵遺跡出土須惠器甕





山木戸遺跡1T土層堆積状況



山木戸遺跡1T道構確認面



山木戸遺跡出土須恵器無台杯



山木戸遺跡出土土師器無台椀



山木戸遺跡出土土師器小甕・長胴甕



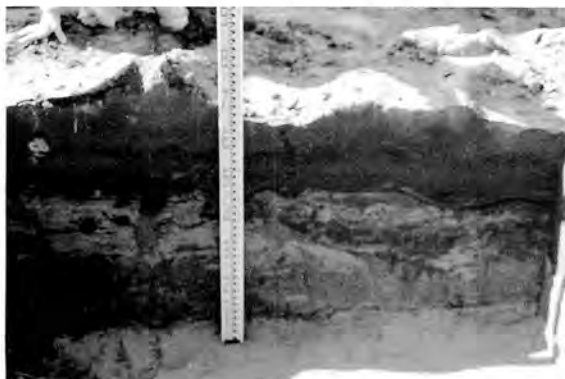
山木戸遺跡出土須恵器甕



山木戸遺跡出土珠洲焼播鉢・甕



山木戸遺跡出土鉄滓・土錘・銭貨



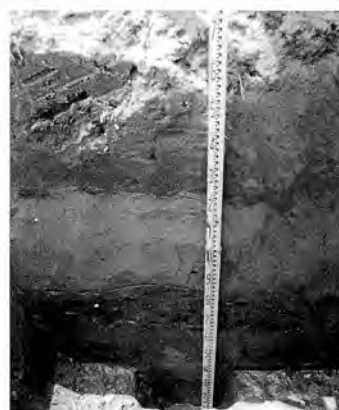
丸山遺跡1T土層堆積



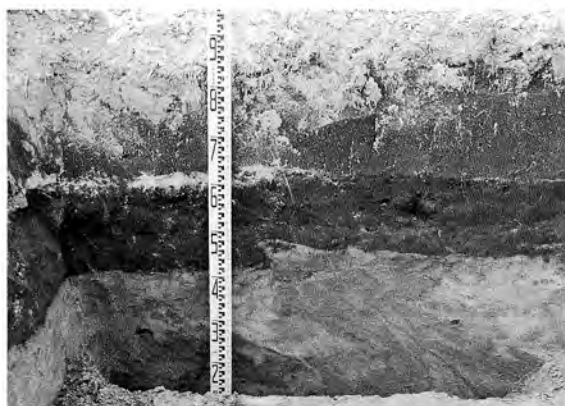
丸山遺跡2T土層堆積



木山遺跡2T土層堆積



木山遺跡1T土層堆積



前山遺跡1T土層堆積



前山遺跡1T噴砂と出土遺物



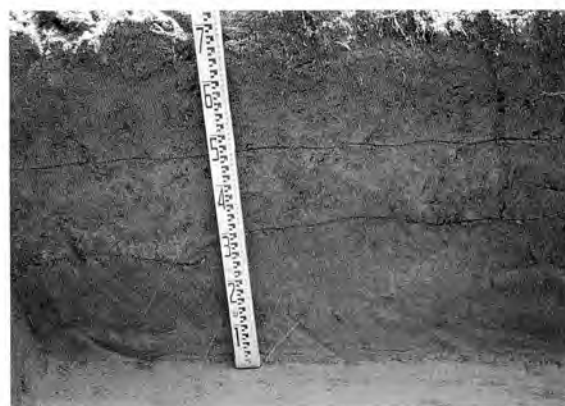
古屋敷遺跡1T土層堆積



古屋敷遺跡6T土層堆積



藤蔵新田遺跡1T土層堆積



藤蔵新田遺跡3T土層堆積

# 報告書抄録

ふりがな	へいせい8ねんどまいぞうぶんかざいはくつちようさほうこくしよ								
書名	平成8年度埋蔵文化財発掘調査報告書								
編著者名	諫山えりか								
編集機関	新潟県新潟市教育委員会 生涯学習課								
所在地	郵便番号951 新潟県新潟市学校町通1番町602番地1								
発行年月日	西暦1997年3月31日								
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査 面積㎡	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
き木	やま山	新潟県新潟市木山字前田860	15201	42	37°49'33"	138°53'45"	960527~ 960529, 961030	20	県道改修
まえ前	やま山	新潟県新潟市北山字前山400	15201	11	37°52'11"	139°07'32"	960530	12	個人住宅建設
ふる古	やしき敷	新潟県新潟市松崎字西636	15201	31	37°55'42"	139°07'12"	960617・960618 ・960620	60	市道敷設
とう藤	せう蔵	新潟県新潟市赤塚字乳ノ島1227-1	15201	102	37°48'34"	138°53'56"	960724	11	個人住宅建設
やま山	き木	新潟県新潟市山木戸4丁目441	15201	112	37°55'06"	139°05'27"	960806 ~960809	31	共同住宅建設
まる丸	やま山	新潟県新潟市丸山善之丞組字宮前156-2	15201	13	37°52'28"	139°07'42"	961029	20	個人住宅建設
いす石	るぎ動	新潟県新潟市本所字居浦889	15201	85	37°54'54"	139°08'13"	961105 ~961112	48	県道敷設
おお大	ぶち淵	新潟県新潟市江口中谷内5180-3	15201	16	37°53'51"	139°08'46"	970317 ~970319	28	倉庫建設
おお大	ぶち淵	新潟県新潟市大淵字天神裏1284	15201	16	37°53'32"	139°08'48"	970321 ~970421	100	宅地造成
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項	
木山遺跡	遺物散布地	古代・中世							
前山遺跡	遺物散布地	古代							
古屋敷遺跡	遺物散布地	古代・中世・近世							
藤蔵新田遺跡	遺物散布地	中世							
山木戸遺跡	集落跡	古墳・古代・中世・近世	古代か中世の穴		須恵器・土師器、小刀、珠洲焼				
丸山遺跡	遺物散布地	古代							
石動遺跡	遺物包含地	弥生・古墳・古代・中世			古式土師器				
大淵遺跡	遺物包含地	古代・中世							
大淵遺跡	遺物包含地	古代・中世			須恵器・土師器、珠洲焼				

## 平成8年度埋蔵文化財 発掘調査報告書

発行日 平成9年3月31日  
 発行 新潟市教育委員会  
 新潟市学校町通1番町602番地1  
 〒951 電話 (025)228-1000  
 印刷 (有)太陽印刷所  
 新潟市和合町2丁目4番18号  
 〒950 電話 (025)265-3101